

第 11 回日本医療教授システム学会総会 併設セミナーご案内

2019 年 3 月 23 日 (土) 吉田学園医療歯科専門学校 (札幌市中央区)

こちらのセミナーには、日本医療教授システム学会
の非会員でもご参加できます。

3 月 21-22 日の学会総会に参加されていなくてもセ
ミナーのみの参加も可能です。21,21 日の総会に参
加するばあいには、別途総会の参加費は必要です。



ウォーミングアップセミナー！他のセミナーとご一緒に。

医療実践能力の構造とデザイン 8:30-9:30

ファシリテーター：池上敬一

救急活動が実践できるように教える・学ぶためには、救急活動（出場→現場活動→帰署）を構造化し救急活動に必要な能力を同定することが必要になります。

同じように看護実践ができるように教える・学ぶためには、看護実践（ステーション→患者の看護・ケア→ステーション）を構造化し看護実践に必要な能力を同定することが必要になります。

ゴールド・メソッドは医療職ごとの実践の構造と実践に必要な能力を「見える化」する方法です。

ゴールド・メソッドでは医療実践の構造をスクリプト、医療実践に必要な能力を知識カードとして教材化・見える化します。

参加費：JSISH 会員 3,000 円 非会員 7,000 円

（別の併設セミナーと一緒に受講される場合には、1,000 円でご参加が可能です。）

ポートフォリオ記載ワークショップ 8:30-10:00

ファシリテーター：三好雅之、浅田義和

医療組織・教育機関で教育に関わる皆さん、「自分は何ができればいいのか？」「自分派何ができているのか？」悩むことはありませんか？
実は、教授設計（インストラクショナル・デザイン）に関わる人々に望まれる能力（コンピテンシー）の記述として、『ibstpi インストラクショナル・デザイナー・コンピテンシー』があります。

このワークショップではこの書籍のコンピテンシー項目にもとづいて、参加者の皆さんが「何ができているのか？」をふりかえる場を創ります。

対象：ARCS/ISD セミナーにてラーニングアシスタントとして参加された経験のある方（優先）

・医療者教育に携わる方で、ibstpi のデザイナーコンピテンシーに沿った自己評価とポートフォリオ作成に取り組んでみたい方

スタッフ：資格認定委員会 三好雅之（鳥取大学医学部 医学教育総合センター）、浅田義和（自治医科大学情報センター）

司会：松本尚浩（笑顔のおうちクリニック松戸 院長・学習システム開発責任者）

参加会費：会員 4,000 円 非会員 8,000 円

患者安全 TeamSim 入門セミナー

急変させない患者観察テクニック 基礎セミナー

9:45-16:30

ファシリテーター：三辻智美、平尾明美

■学習形式：ビデオ教材を使ったメンタル・シミュレーション、グループワークはインストラクターが効果的に楽しく学ぶためにサポートします。

■受講対象者：医師、看護師、薬剤師、放射線技師など病院やクリニックなどに勤務する医療者。消防組織の救急隊員（救急救命士を含む）等の病院前救急医療従事者。

医療機関や医療者を養成する教育機関に常勤する教員、臨床指導者、研修指導者。

■セミナーのゴール：

パッと見判断と迅速対応ができる、全体観察で変化を感じとることができる、初期評価で「変化がない」「変化の懸念がある」「変化がある」を判断できる、判断に応じた対応をとることができる、判断を I-SBAR-C で報告できる・対応を提案できる、自分を褒める・心が折れない振り返りができる。

参加会費：会員 10,000 円 非会員 15,000 円（同施設 2 名以上の申込で 14,000 円/人）

ゴールド・メソッドセミナー 9:45-13:45

ファシリテーター：池上敬一、岡本華枝

ゴール：多様性・複雑性に対応した看護実践ができる新人看護師に育つ/育てる看護基礎教育をデザインし実践できる。

学習目標：多様性・複雑性に対応した看護実践ができる新人看護師に育つ/育てる看護基礎教育のデザインモデル（ゴールド・メソッド®）を使って看護技術の教育・演習を改善できる。

教材：看護学生・若手看護師のための 急変させない患者観察テクニック：小さな変化を見逃さない！できる看護師のみかた・考え方（羊土社）を各自でご用意ください。

参加会費：会員 6,000 円 非会員 8,000 円

対象：看護教員、看護師

お好きな単位でのご参加ができます

あなたの学び方・教え方ワークショップ

10:15-16:00

ファシリテーター：松本尚浩

- 学習者の意欲改善のための方略(90 分) 10:15-11:45
- 学習者の自発性改善のための方略(90 分) 12:30-14:00
- 教育者としての発展への方略(90 分) 14:30-16:00

3 ユニットの基本時間割

(5 分間) このユニットの主な話題、(30 分間) ワークショップ 1
(5 分間) 共有 1 (30 分間) ワークショップ 2
(20 分間) 共有 2 とまとめ

各ユニットの主な学習内容とゴール

参加会費：1 ユニット 会員 3,000 円、非会員 5,000 円

3 ユニット参加 会員 7,000 円、非会員 13,000 円（3 ユニット全てを参加する場合の料金です）

対象：医療関連機関・学術組織で教育に関わる医療職、医療学生

教材：『学習設計マニュアル』（北大路書房）各自でご用意下さい。

最新の教育テクノロジーを応用し開発した目からウロコの
「救急活動プロトコール」を使って救急活動を実行することができる

救急活動シミュレーション学習コース 9:45~13:45

ファシリテーター：土屋健一

救急隊員を対象としたシミュレーションコースです。救急活動基準のプロトコールに準拠した、質の高い救急活動を行うために「傷病者に最適な救急活動を考え組み立て、救急隊から病院（医師）への伝達」方法を学びます。

対象：救急隊員 または 指導的救急救命士

参加費：8,000 円

詳細お申し込みは、

第 11 回日本医療教授システム学会総会

ホームページからどうぞ

<https://jsish.jp/eduwp/?p=4270>

